

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【公開番号】特開2011-160984(P2011-160984A)

【公開日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2011-034

【出願番号】特願2010-26941(P2010-26941)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月8日(2013.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

網膜を構成する細胞に電気刺激を与えるための複数の刺激電極と該複数の電極の各々に接続されるリード線とが形成される基板と、該基板上に設置され前記刺激電極に送る電気刺激パルスを制御するための電子回路と、該電子回路をハーメチックシールするために基板上に設けられる気密ケースと、を有する視覚再生補助装置において、

前記気密ケースが設けられた前記基板の眼球接触部分は眼球形状に沿った曲面形状とされていることを特徴とする視覚再生補助装置。

【請求項2】

請求項1の視覚再生補助装置において、

前記気密ケースは、生体適合性を有する金属材料にて形成され前記電子回路を上面側に載置し下面側を前記基板に接合される載置台と、該載置台に載置された前記電子回路を密封するための蓋部材からなることを特徴とする視覚再生補助装置。

【請求項3】

請求項2の視覚再生補助装置において、

前記載置台の少なくとも前記下面は眼球形状に沿った曲面形状であることを特徴とする視覚再生補助装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(1) 網膜を構成する細胞に電気刺激を与えるための複数の刺激電極と該複数の電極の各々に接続されるリード線とが形成される基板と、該基板上に設置され前記刺激電極に送る電気刺激パルスを制御するための電子回路と、該電子回路をハーメチックシールするために基板上に設けられる気密ケースと、を有する視覚再生補助装置において、前記気密ケースが設けられた前記基板の眼球接触部分は眼球形状に沿った曲面形状とされていることを特徴とする。

(2) (1)の視覚再生補助装置において、前記気密ケースは、生体適合性を有する金

属材料にて形成され前記電子回路を上面側に載置し下面側を前記基板に接合される載置台と、該載置台に載置された前記電子回路を密封するための蓋部材からなることを特徴とする。

(3) (2)の視覚再生補助装置において、前記載置台の少なくとも前記下面は眼球形状に沿った曲面形状であることを特徴とする。